年　　月　　日

平成２９年度補正　燃料配送合理化促進支援事業「共同利用・燃料配送」実績報告書

（燃料配送用貯蔵タンク用）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　交付承認番号　燃料－２９補－　　－

|  |  |
| --- | --- |
| 　(申請者) |  |
| 住　　　　所 |  |
| 氏名又は名称 |  |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |
| 電話番号 |  | 担当者 |  |

**１．「共同利用・燃料配送」を行った構成員**

|  |  |
| --- | --- |
| 社　　名 |  |
| 住　　所 |  |

**２．申請（配送）油種**

|  |
| --- |
|  |

**３．燃料を配送した地域名（申請時に記載した地域を記載して下さい）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 地域１ | 地域２ | 地域３ | 地域４ | 地域５ |

**４．「３.」で記載した地域の配送実績（対象期間中の実績合計を記入してください）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 灯　油 | 地域１ | 地域２ | 地域３ | 地域４ | 地域５ | 地域1～５の合計 | 達成状況○：達成×：未達 |
| 1. 対象期間
 | 　　年　月　～　　年　月 | 　　年　月　～　　年　月 | 　　年　月　～　　年　月 | 　　年　月　～　　年　月 | 　　年　月　～　　年　月 |
| ②燃料積み替え量 | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ |  |
| ③配送量(合計) | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ |  |
| ④配送先件数 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 軽　油 | 地域１ | 地域２ | 地域３ | 地域４ | 地域５ | 地域1～５の合計 | 達成状況○：達成×：未達 |
| ①対象期間 | 　　年　月　～　　年　月 | 　　年　月　～　　年　月 | 　　年　月　～　　年　月 | 　　年　月　～　　年　月 | 　　年　月　～　　年　月 |
| ②燃料積み替え量 | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ |  |
| ③配送量(合計) | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ |  |
| ④配送先件数 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 |  |

**５．地域１～５の合計量が計画に達しなかった場合、主たる理由と改善策をご回答ください。（１つずつ選択）**

○主たる理由※あてはまるものに１つ○印

灯油　軽油

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 需要の減少（高齢化・人口減、他のエネルギーへの転換、大口取引先の移転・倒産等） |
|  |  | 配送要因不足（人手不足） |
|  |  | その他　具体的に記載 |

○主たる改善策※あてはまるものに１つ○印

灯油　軽油

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 新規顧客の開拓 |
|  |  | 人材確保・育成・配送効率の改善（配送ルートの見直し等） |
|  |  | その他　具体的に記載 |

【共同利用・灯油配送に関する注意事項】

・共同利用・灯油配送実績内容について石油協会や国が調査を行うことがあります。

・そのため、上記実績の基となる対象期間中の日別・月別の実績は、各自で管理して下さい。

・また、仕入れに係る伝票類及び各配送先に対する納品書や請求書等の写しを提出していただくことがありますので、補助事業完了の日の属する会計年度（４月１日～３月３１日）の終了後５年間保存して下さい。

**※本実績報告書は、「共同利用」を行った構成員ごとに作成して下さい。**

**６．補助金申請時に提出頂いた「長期的な事業継続により安定供給の責務を果たすための経営改善方針」のフォローアップ**

**（１）３３年度（2021年度）の経営目標（原則、申請時に記載した内容を記入。特段の状況変化がある場合には変更後の目標）**

|  |  |
| --- | --- |
| 年間燃料販売量 | ＫＬ |
| 燃料売上 | 千円 |
| 油外売上 | 千円 |

　　　　※企業全体の燃料販売量、金額を記載して下さい。

**（２）直近年度の経営状況**

|  |  |
| --- | --- |
| 年間燃料販売量 | ＫＬ |
| 燃料売上高 | 千円 |
| 油外売上高 | 千円 |

　　　　※企業全体の燃料販売量、金額を記載して下さい。

　**（３）３３年度の経営目標を変更した場合その目標を達成するための具体的な取組**

※以下の６類型のうち、「類型6.ハ」の記載は必須です。その他に最低１つ以上にチェックを付けていただき、具体的な取組の方針をコミットしていただきます。（**申請時に記載した内容に変化が無い場合は記載の必要はなし。申請時に記載した内容に変化がある場合に記入。**）

**□類型１．人材育成の強化等に関する事項**

イ　人材の育成

例）ＥＶ等の普及をはじめとした外部環境の変化に対応するため、自社内での教育の実施に加え、従業員を石油精製元売会社、設備メーカー又は石油組合が開催する研修・セミナーへ参加させ、従業員の育成を図る

ロ　優良人材の確保

例）廃止したＳＳの元従業員等の即戦力となる人材を確保・活用する。

ハ　従業員満足度の向上

例）職場環境の整備、待遇の改善、休暇取得の柔軟性向上、成果報酬の見直し、残業時間の削減等により、従業員の満足度を向上させ、人材の確保を図る。

＜具体的取組＞

**□類型２．財務管理に関する事項**

イ　費用の効率化

例）燃料油、燃料油以外、兼業といった部門ごとの収益の把握といった方法によるコストの可視化、いわゆるＰＤＣＡサイクルの徹底、マニュアルの作成による業務の実施方法の標準化を図ることにより費用の効率化を図る。

ロ　適正な仕入価格の確保

例）石油精製元売会社が石油製品の価格算定に用いる、石油精製元売会社とＳＳ間における一般的なフォーミュラによって算定した価格によって取引を行う等により、適正な価格による仕入れを行う。

＜具体的取組＞

**□類型３．　営業活動の強化に関する事項**

イ　顧客分析による新たな商品・サービスの提供

例）走行量調査や入店率調査による潜在的需要の把握を通じて各顧客に対応した商品・サービスを提供し、又は継続的に改善することにより、販売数量、油外収益、顧客満足度の向上を図る。

ロ　経営の多角化

例）自動車関連事業への進出など、ＳＳの特性を活かした経営の多角化により油外収益の確保を通じて経営力強化を図る。

ハ　官公需受注の取組の促進

例）組合を構成するＳＳによる地域でのネットワーク性を活用し、組合による官公需の受注に係る運動を推進する。

ニ　他業界における優良事例の導入

例）ＰＯＳシステムの情報等を利用して消費者の情報を収集・分析し需要の多様化等に適応する等、他の卸売・小売業界で見られる優良な取組等を導入する。

＜具体的取組＞

**□類型４．ＩＴ等の利用による経営能率の向上に関する事項**

イ　データベースの構築の推進

例）財務、会計、人事、給与管理等に、一般に販売されている業務用ソフトウェア又はクラウドサービス等の標準的なシステムを導入する、又は顧客管理システムや需要動向等データベースを構築する等により、管理部門における業務の効率化を推進する。

ロ　決裁手続きの電子化の推進

例）組合による官公需の受注等を推進するため、決裁手続きの電子化を進める等の取組を推進する。

＜具体的取組＞

**□類型５．災害対応力強化に関する事項**

イ　自家発電機の導入等による災害対応力強化

例）自家発電機の導入や防災訓練、研修会への参加等により災害対応力を強化する。あわせて、こうした取組を通じて官公需受注機会の拡大、地域住民の信頼性向上を図る。

ロ　災害発生時における連携強化

例）災害発生時における避難所等の重要施設への燃料供給や電力会社所有の電源車への燃料供給に関する自治体や他業界との連携体制の構築を図る。

＜具体的取組＞

**※「類型６．ハ」の記載は必須です。**

**☑類型６．その他経営力向上に関する事項**

イ　高性能な設備の導入

例）既存の設備と比べて高効率な空調、照明機器、洗車機、ＰＯＳ、計量機等を導入し、エネルギー効率の向上及び省力化を推進する。

ロ　設備の共同利用

例）設備を事業者間で共同利用・共同購入することにより、設備の回転率向上を図る。

**ハ　配送の合理化**

例）複数事業者による共同出資会社や有限責任事業組合（ＬＬＰ）を設立するなど、配送の合理化の実現により、灯油等の石油製品の配送コストの削減を推進する。

＜具体的取組＞